



共生社会——。 生きづらさを抱える人々の支援と、本人の自立をいかに支えるか。

共同参画フォーラム「ユアサイド」ひきこもり支援推進事業



参加無料
みんなで学ぼう
ひきこもりセミナー

日時 令和7年12月5日(金) 13時~14時30分
場所 三沢市総合社会福祉センターホール1・2
(定員50名)

講師 むつ市社会福祉協議会生活支援課 課長 室館篤氏
演題 ひきこもりの実情と事例

主催 三沢市ひきこもり支援推進事業
楽晴会ソーシャルワークセンター
共同参画フォーラム「ユアサイド」
お問い合わせ: 楽晴会ソーシャルワークセンター: 0176-53-2231

【講師】室館篤氏
むつ市社会福祉協議会生活支援課課長
むつ市要保護児童等対策地域協議会委員
むつ市地域自立支援協議会会長等

楽晴会共同参画フォーラム「ユアサイド」では令和6年「ひきこもりサポート事業」から始まり令和7年に「ひきこもり支援推進事業」と変わり、三沢市より委託を受け、令和7年12月5日に、三沢市総合社会福祉センターにおいて、むつ市社会福祉協議会の室館氏を講師にお招きし、「みんなで学ぼう「ひきこもりセミナー」」を開催いたしました。

日頃より地域で生活に困難を抱えている方々の支援に携わっている民生委員、居宅支援事業者、関係機関、当事者家族等多数の参加をいただき、講師からの「ひきこもり状態と実情」について、実際に関わった具体例を挙げた講義内容に熱心にメモを取る参加者の姿が見られました。

始めに引きこもり支援ステーション事業の実践内容の紹介がありました。引きこもりの状態にある当事者の居場所づくりや、関係機関のネットワーク、講習会の開催、ひきこもりサポーターの養成など、引きこもり支援の基盤を作る事業です。

相談窓口はウィークデーに毎日設け、年間述べ112件の相談があります。

「ひきこもり当事者の集いの「ふらつとほむ」は、ゲームやニュースポーツなどの内容として、原則無料で、毎月2回開催していました。延べ73名参加していました。また、家族同士の話し合いの場も毎月1回開催されました(延べ8名)。さらに「ひきこもりサポーター養成講座」には、令和6年、7年と2年続けて16~18名の参加がありました。

これらの支援の経過から、「親の正論は百害あって一利なし」とか、「無条件の親の愛」で回復させるなどの心理的な支えを引き出しつつ、支援していることがわかりました。

最後には事例を交えてご講義いただき、貴重で有意義な時間を持つことができました。

セミナーに寄せられた感想には「ひきこもり状態にある方々とその家族の状況の大変さを知ることができた」「実際にひきこもり状態にある方とどのような関わりを持てばよいのか参考になった」等の意見が寄せられ、よい学びの機会となりました。

今後このようなひきこもり状態にある方や家族の理解と自立支援につながる研修会を企画運営していきたいと思っています。

●奥本統一「社会福祉法人楽晴会ソーシャルワークセンター相談員」





社会福祉法人楽晴会ソーシャルワークセンター相談員
豊川江梨子

ウィメンズライツみさわ 女性活躍推進事業

楽晴会「ウィメンズライツみさわ」は、令和4年9月から三沢市より「地域女性活躍推進事業」の委託を受け活動も本年度で4年目を迎えています。

社会的に生きづらいとされている女性問題に関する相談支援はもとより、さらに女性権利擁護、ハラスメント、DV被害となる前の段階からの支援など女性特有の課題に対応しています。

隔月ごとに開催されるソーシャルワークセンターの仕事では三沢市総合社会福祉センターにおいて「女性相談室」を開催し、日頃の一人ひとりの暮らしについてアンケートを記入してもらい、仕事や働き方・家計や暮らし・子育て・介護・人間関係等容易に話し出すこともなかなか難しい事柄についても、回を重ねるごとに話しくださる方々が多くなっていると感じます。

今年度は8月、12月にも場所をソーシャルワークセンターに限定して「ミニ相談室」を開催し、多くの地域の女性と交流することができました。

今後も引き続き女性問題に関する相談支援を行い、女性の地位や権利を守り、身近でサポートをしていく存在として、関係機関と連携し取り組んでまいりたいと思います。

相談事例



離婚を考えていて調停の申立てをするかしらないか悩んでいる。本人も子どもたちもDV被害はないとのこと。小さい子もいるので二人で育てていけるのか不安で決心がつかないと話す。旦那さんとすれ違いが多く最近ほとんど会話していないと言っているので、お互いの気持ちを知らずとも話し合うことや、一人で悩まずに相談してほしいことなどを伝えている。



多子世帯。オープニングスタッフで採用され、12月末までの雇用契約になっている。契約延長の方がいる中で自分には声がかからなかった。期間中に子どもも体調不良で休むことが多かったからだと思うと話す。就労支援の声掛けをするが、子どもが小さいうちはどこで働いても同じことの繰り返しだと思うので自分で探しますとのことだった。「良い情報を入手したら連絡しますね」と声掛けしている。

【令和7年度三沢市地域女性活躍推進事業】

ミニ相談窓口開催のお知らせ

女性相談室をご利用いただき、誠にありがとうございます。
「ミニ相談窓口」のご案内です。
この窓口は、ソーシャルワークセンターの相談室をご利用されている方に向けてご案内しております。女性用品を準備しておりますので、どうぞお気軽にご利用ください。
何かお困りのことやご質問がございましたら、どうぞスタッフまでお声がけください。
あなたの声を大切にし、心からサポートさせていただきます。【秘密厳守】

日程：12月20日（土）
時間：12:00～18:00

会場：ウィメンズライツみさわ

楽晴会 ソーシャルワークセンター内

（三沢市図書館隣駐車場 さくらアカデミー字跡となり）

対象者：ソーシャルワークセンター相談室をご利用の方

お問い合わせ先：TEL 0176-53-2231

【相談内容】

- ・仕事や働き方のこと
 - ・家計や暮らしのこと
 - ・子育てや介護のこと
 - ・人間関係やメンタルのこと
- お気軽にご相談ください。

※マスクの着用をお願いいたします。

楽晴会ソーシャルワークセンターでは、平成22年に「親子安心ネットワーク・みさわ」を開設し、虐待の事例勉強会などをしていました。

令和3年からは三沢市より「支援対象児童等見守り強化事業」の委託を受けています。

子育て世帯が孤立せず、安心して子育てができるよう、居宅訪問やフリースペースでの食事提供などを通して、子どもやご家庭の様子を見守っています。

また、「要保護児童対策地域協議会実務者会議」への参加がはじまり、関係機関とケースマネジメントをしながら、地域全体で子どもを支える取り組みを行っています。

訪問やフリースペースへの参加を重ねる中で、少しずつ気持ちが前向きになり、登校日数が増えてきたお子さんもいます。

現在の「こども宅食おすそわけ便」などで、多子家庭で生活が苦しい方々や就学支援家庭等に、政府提出の「お米」、民間寄付の「お菓子やジュース」「お肉等冷凍食品」などの配布を隔月で行っていますが、中でも「特に生きづらさを抱える家庭」には、この行事を通しての見守りの機会にもさせていただきます。

これからも、一人ひとりに寄り添いながら、安心してつながれる支援を続けていきたいと思ひます



社会福祉法人楽晴会ソーシャルワークセンター相談員
吉田 肇 伽

親子ネットワーク・みさわ 支援対象児童等見守り強化事業



利用無料 三沢こども宅食

おすそわけ便

令和7年 11月29日(土)

※いずれか1種類のご利用とさせていただきます

利用方法1 申込をして指定場所で受取る

※申込不要で利用できるパントリー
※三沢市内在住の方に限ります
※三沢市在住を証明できるものを持参ください

※受付時間：14時～16時(13:30受付開始)
※開始時間前に入場はできません
※お子さんとご一緒にご参加ください
※マイバックをご持参ください

№	品名	住所	受付時間	電話番号
1	三沢こども宅食	三沢市2-7-7	10:00～17:00	53-2279
2	平沼こども宅食	三沢市8丁目93-2	10:00～17:00	57-2228
3	豊平こども宅食	六町1丁目8-36	10:00～17:00	53-2908
4	竹の子保育園	三沢市堀口164-2	10:00～17:00	52-2780
5	児童福祉センター	三沢市3丁目23-1	10:00～17:00	51-3370
6	楽晴会ソーシャルワークセンター	三沢市3丁目1-2	10:00～17:00	53-2231
7	板町地区内5A室	板町3-1-21	10:00～17:00	52-7118
8	吉野水産センター	大瀬原市南木152-465	10:00～17:00	53-5056
9	六川田ひかり館	六川田6-28-6	11:00～18:00	59-3601

※駐車場の事故等にご注意ください。

利用方法2 申込をして自宅へ配達

配達時間：14時～16時

※申込不要で利用できるパントリー
※三沢市内在住の方に限ります
※三沢市在住を証明できるものを持参ください

※受付時間：14時～16時(13:30受付開始)
※開始時間前に入場はできません
※お子さんとご一緒にご参加ください
※マイバックをご持参ください

【利用申込】

①QRコードで申込
②申込書で申込
※結果は数日前に知らせます

※11月7日(金)17時

開催予定日

令和7年 11月29日

令和8年 1月24日 3月28日

※マスク着用

【寄付品随時受付中】

●食品類 缶詰などの加工食品、野菜、果物、防災備蓄品、レトルト食品、米、お菓子、ジュース、調味料 など
●日用品 トイレ用紙、子ども用おむつ、女性用品 など
●お肉 鶏、豚、牛、羊肉 など

※持ち込み時間：随時受付 9時～17時
※持ち込み場所：楽晴会ソーシャルワークセンター (三沢市3丁目1-2 TEL:53-2231)

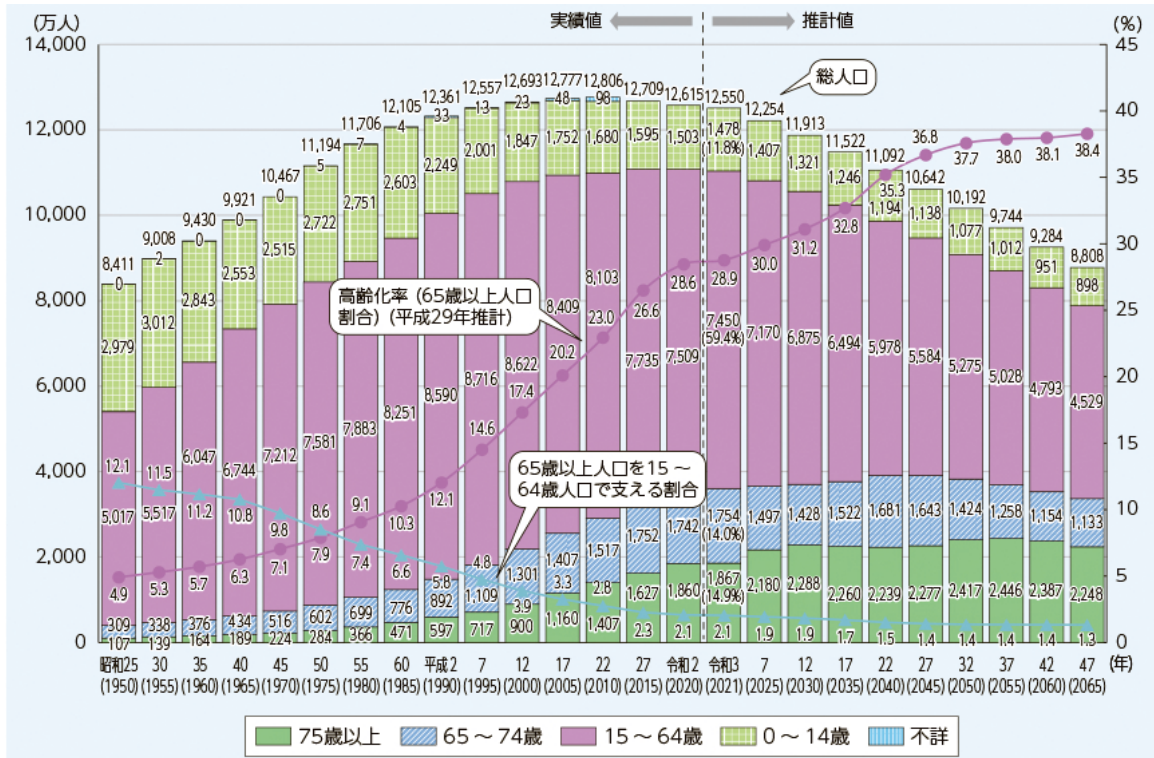
※賞味期限の確認にご協力をお願いします

三沢市内、六町内、六戸内のファミリーマート、三沢市内のセブンイレブンでも常時フードドライブを開催しております！

生き残りをかけた15年間のスタート

生産年齢人口の減少

総務省（令和4年版 情報通信白書）



もう戻れない時代の変化が訪れています。

上のグラフは2065年までですが、2021年をピークにピンク・浅黄色が右方下がり、すなわち急激に減少していきます。ピンクは労働者の中心、浅黄はポスト労働者の若者です。

一番介護が増える後期高齢者は緑でピークが2055年。

ここからわかることは現在2026年ですから、後約30年は高齢者が増大するのに、働く人は3割減るのです。

現状で既に外国人に3割近く頼っている東京の施設、また青森でも約15名いる現状ですから、東京では日本人は5割割れ、青森では3割は必要になってくるでしょう。

これらの人々のコミュニケーションは当然ですが、外国人として日本で暮らすことの支援、また住宅の確保、地域の理解の醸成など、「新しい異文化」コミュニティの在り方を形成」する地域福祉力がためられます。

一番は、外国人の子どもたちがどのような夢を持てるようにするかです。

地域包括ケアも変わってきました。ホームヘルプサービスのない自治体は2024年末で、全国に107町村です。2025年に倒産したデイサービスの数は49件、休廃業・解散した「医療機関（病院、診療所・歯科医院）」は合計で786件。老人福祉・介護事業の倒産は172件で過去最多でした。2040年地域に診療所がない市区町村数は170。

多様な産業が参入できるのが介護保険事業のス

ターゲットでしたが、今は、不意な起業は継続が困難な時代になっています。

一方最近またでは、この厳冬の雪道に四輪車に荷物を運ぶ高齢者を時々見かけました。声をかけるとコインランドリーや買い物です。健康で生活支援サービスが必要とする高齢者が増えています。介護保険では決して埋められない生活支援サービスの問題です。

「地域づくり」が介護保険や介護予防で求められています。これから生活支援サービスとも連動した、健康寿命を延伸する地域づくりサービスが必要とされます。

頼る身寄りのない人のサービスもこれからです。一方、介護が必要になってきた時の施設基盤は流動的です。

昨年末、厚労省・西島康浩医政局地域医療計画課長は、「特養は慢性期の受け皿とはなり得る」と指摘はしましたが、「建物の補助は難しい」と明言。規模縮小や地域医療連携法人などを活用すべきで、個々の法人で解決するのは困難と指摘しています。もはや介護は、一自治体から広域の自治体を含めた課題となりつつあります。

ある「コンサルの言葉」

- 2030年までに事業の趨勢が決まる
- 2035年に統合は始まる
- 2040年の新しい形ができる

「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」検討会 とりまとめ（概要）

令和7年7月25日

地域における「連携」を通じたサービス提供体制の確保と地域共生社会	2040年に向けて、高齢化・人口減少のスピードが異なる中、地域の実情を踏まえつつ、事業者など関係者の分野を超えた連携を図り、サービス需要に応じた介護、障害福祉、こどもの福祉分野のサービス提供体制の構築が必要。
	地域住民を包括的に支えるための包括的支援体制の整備も併せて推進することで、地域共生社会を実現。

2040年に向けた課題	人口減少、 85歳以上の医療・介護ニーズを抱える者や認知症高齢者、独居高齢者等の増加
	サービス需要の地域差。 自立支援のもと、地域の実情に応じた効果的・効率的なサービス提供
	介護人材はじめ福祉人材が安心して働き続け、利用者等とともに地域で活躍できる地域共生社会を構築

基本的な考え方	①「 地域包括ケアシステム 」を2040年に向け深化
	② 地域軸・時間軸 を踏まえたサービス提供体制確保
	③ 人材確保と職場環境改善・生産性向上、経営支援
	④ 地域の共通課題と地方創生 （※介護は、特に地方において地域の雇用や所得を支える重要なインフラ。人手不足、移動、生産性向上など他分野との共通課題の解決に向け、関係者が連携して地域共生社会を構築し、地方創生を実現）

方向性	(1) サービス需要の変化に応じた提供体制の構築等 ※サービス需要変化の地域差に応じて3分類	【中山間・人口減少地域】 サービス維持・確保のための柔軟な対応	地域のニーズに応じた柔軟な対応の検討 (配置基準等の弾力化、包括的な評価の仕組み、訪問・通所などサービス間の連携・柔軟化、市町村事業によるサービス提供等)
			地域の介護等を支える法人への支援
		【大都市部】 需要急増を踏まえたサービス基盤整備	重度の要介護者や独居高齢者等に、ICT技術等を用いた24時間対応
			包括的在宅サービスの検討
	(2) 人材確保・生産性向上・経営支援等	【一般市等】 サービスを過不足なく提供	既存の介護資源等を有効活用し、サービスを過不足なく確保
			将来の需要減少に備えた準備と対応
		テクノロジー導入・タスクシフト／シェアによる生産性向上 (※2040年に先駆けた対応。事業者への伴走支援や在宅技術開発)	
		都道府県単位で、雇用管理・生産性向上など経営支援の体制の構築	
	(3) 地域包括ケアシステム、医療介護連携等	大規模化によるメリットを示しつつ、介護事業者の協働化・連携（間接業務効率化）の推進	
		地域の医療・介護状況の見える化・状況分析と2040年に向けた介護・医療連携の議論（地域医療構想との接続）	
		介護予防支援拠点の整備と地域保健活動の組み合わせ (※地リハ、介護予防、一体的実施、「通いの場」、サービス・活動C等の組み合わせ)	
		認知症高齢者等に対する、医療介護等に加え、地域におけるインフォーマルな支援の推進	
	(4) 福祉サービス共通課題への対応 (分野を超えた連携促進)	社会福祉連携推進法人の活用を促進するための要件緩和	
		地域の中核的なサービス主体が間接業務をまとめることへの支援	
		地域の実情に応じた既存施設の有効活用等（財産処分等に係る緩和）	
		人材確保等に係るプラットフォーム機能の充実	
		福祉医療機構による法人の経営支援、分析スコアカードの活用による経営課題の早期発見	

第10回八戸リレーマラソン大会 楽晴会ジョギングクラブ



令和元年に結成された楽晴会ジョギングクラブは、設立当初、7名のメンバーで八戸リレーマラソン（ハーフの部）を完走するというところから活動のスタートを切りました。しかし、翌年からのコロナ禍により、その後6年間は思うように活動できない日々が続きました。そんな中、ようやく再開への気運が高まり、令和7年に開催された第10回八戸リレーマラソンのフルの部（42.195 km）へ、職員11名で参加することができました。メンバーは、日頃から走っているベテランから、大会の数日前に練習を始めた初心者まで幅広く、年齢層も20代から60代まで多彩な顔ぶれとなりました。リレーマラソンは1周1.5 kmのコースを交代で28周し、タスキを繋ぐ競技です。各自の走力に合わせて2〜4周を担当しましたが、当初は「親睦を深めること」を目的としていたメンバーも、途中結果が掲示されると一変。一つでも順位を上げようと、全員が真剣な表情でタスキを繋ぎました。結果は3時間49分で完走。24チーム中20位という成績でしたが、当日は多くのサポーター職員が応援に駆けつけ、新調した楽晴会オリジナルユニフォームを全員で着用したことで、チームの統一感も高まり、より一層親睦を深めることができたと感じました。

社会福祉法人楽晴会 栄町拠点長

中平智弘

講師派遣	キャラバンメイト（認知症サポーター養成講座）	8/7, 20	中平智弘（三沢老人ホーム拠点長補佐） 山田大文（ホームヘルパーステーション青空・訪問入浴サービスステーション青空所長）
	堀口中学校2年生	9/10	
	三沢第三中学校1〜3年生	11/21	中平智弘（栄町拠点長） 袴田晃多（三沢老人ホーム館長） 山田大文（ホームヘルパーステーション青空・訪問入浴サービスステーション青空所長）
実習生等受入れ	古間木小学校4年生	8/5	青森県看護協会訪問看護体験型研修（1名）
	三沢訪問看護ステーション	8/25〜9/30	八戸学院大学短期大学部介護福祉学科 介護福祉士実習生2年生
	三沢老人ホーム	10/29, 30	三沢第二中学校3年生
		11/14	青森県立保健大学健康科学部社会福祉学科 SW実習I 2年生
	松原コラボケアセンター・松原ぬくもりの家	11/14	木崎野小学校5年生（29名）・先生（2名）
	晴ヶ丘老人ホーム	8/5	六戸学園 介護体験 9学年
	松園拠点	9/3〜5	三沢市立第一中学校3年生（2名）
		9/18, 19	六戸学園 9学年
	堀口拠点	8/7〜9/8	八戸学院大学健康医療学部人間健康学科4年
		11/6〜21	青森県立保健大学健康科学部社会福祉学科 2学年
	堀口児童デイサービスセンター	8/7	三沢高等学校普通学科3年（2名）
		8/8	八戸学院大学健康医療学部人間健康学科4年
		11/17	青森県立保健大学健康科学部社会福祉学科 2学年
	世田谷希望丘ホーム	9/17〜19	世田谷区立千歳中学校 職場体験学習2年生（3名）

福祉教育

2025年8月〜2025年11月

2025年8月～2025年11月

晴ヶ丘老人ホーム	8/1	晴ヶ丘農園収穫祭
	8/8, 16	買い物散策
	8/27	晴ヶ丘まもり隊結成式
	9/5	六戸町秋祭り夜間運行見物
	10/3, 15, 29	ランチ散策
はるが丘デイサービスセンター	10/5	入居者自治会山鳩の会役員会
	10/30	ミニ運動会
グループホーム はるが丘	11/25	はるデイcafé
	9/17	アグリのに里散策
	10/11	三沢老人ホーム祭り見物
三沢老人ホーム	11/2	メイプルタウンフェスタ散策
	10/11	三沢老人ホーム祭り
	11/5～7	紅葉散策
岡三沢めぐもりの家	8/7	フレッシュサークルoka
	10/11	三沢老人ホーム祭り観覧
岡三沢コラボケアセンター	8/7	フレッシュサークルoka
栄町めぐもりの家	8/23	三沢まつり観覧
	10/30	ハロウィンパーティー
	11/7	運動会
栄町コラボケアセンター	8/23	三沢まつり観覧
	10/23, 24	ゲーム大会
松原めぐもりの家	10/7	月見会
	10/22	総合避難訓練～消防立ち合い
	10/28	紅葉散策
	11/4	寿司の日行事
	11/27	お酒を嗜む会
松原コラボケアセンター	8/6	喜久寿司外食
	8/21	まるまつ外食
	9/4, 9	「あぐりの里」散策
	10/11	三沢老人ホーム秋まつり参加
	10/22	総合避難訓練～消防立ち合い
	10/24～28	紅葉散策
	10/29	菜園収穫祭
松園ケアラウンジ・スカイ	8/7	流しそうめん
	10/10	避難訓練
	10/16	かつば寿司ランチ
	11/14	八食センター散策
松園デイサービス・スカイ	8/6～8	買い物散策（よこまちストア）
	8/16	盆踊り
	8/21	映画鑑賞
	10/14～15	焼き芋会
	10/31	ハロウィン
	11/14～15	手作りお菓子

各事業所において夏祭りや敬老会を行っています。

松園グループホーム・スカイ	8/5	ドライブ散策（三沢漁港）
	8/17	夏のスイーツバイキング
	8/28, 9/26, 10/28	歌声サロン慰問
	9/4	誕生日会
	9/26	ドライブ散策（間木公園～アグリのに里）
	10/2	ドライブ散策（六戸道の駅古民家見学）
	10/26	秋のミニ運動会、誕生日会
シニアライフ大津	11/12	誕生日会
	8/8	納涼祭
	10/15	カフェO2
三沢デイサービスセンター	11/12	運動会
	8/8	納涼祭
	8/5～7, 9/17～19, 10/15～17, 11/12～14	マエダ買物散策
	10/8	カフェO2
	10/14	大運動会
	10/31	ハロウィン会
	11/5	焼き芋会
地域活動支援センターボイス	11/5～7	紅葉ドライブ
	8/26	【地域資源探索!】夏の「青森県立三沢航空科学館～三沢空港✈️」
	9/26	サンドイッチとミニピザ作り
	10/28	ハロウィン♪ミニパフェ作り
ソーシャルワークセンター	11/17	イオンモール下田へ買い物
	8/5	こどものフリースペース、人生食堂
	8/12, 19, 9/15	こどものフリースペース
	8/30	ミニ窓口おすそわけ便
	9/9, 10/14, 11/11	人生食堂
バラアートみさわ	10/4, 11/29	こども宅食おすそわけ便
	8/28, 9/25, 10/21, 11/20	誕生会
	9/20	三沢基地航空祭 事前見学会
	11/11	美術館散策（Art to You! 障がい者芸術世界展 IN SHICHINOHE2025）
障害者就労トライアルセンターボイス（B型）	12/29	お疲れさま会
	9/20	三沢基地航空祭 事前見学会
	11/24	地域奉仕活動と職場見学・ランチ会
堀口児童デイサービスセンター	12/29	お疲れさま会
	8/2	調理 焼きそばづくり
	8/5～8	グルメツアー
	8/16	小川原湖ロッジ散策
	8/30	じゃがいも堀り
	9/6	調理 カレー作り
	9/20	航空祭見学
	10/4	調理 シチューづくり
世田谷希望丘ホーム	11/8	親子レクリエーション（ミニ運動会）
	11/15	調理 オムライスづくり
	9/29	リコーダーアンサンブル びぼ 演奏会
	10/15	資生堂 いきいき美容教室
世田谷希望丘コラボケアセンター	10/30	くまさんバンド（ウクレレ・ピアノ演奏）
	8/12	スイカ割り大会

2025年8月～2025年11月

御寄贈品	大津わらび会様	雑巾2箱
	光昌寺様	お菓子、だんご、ジュース74.3kg
	島貫功様	お米20kg
	船橋地区社会福祉協議会様	雑巾50枚、布巾20枚
	池田美智子様	タオル71枚、バスタオル17枚、バスマット1枚
こども宅食への御寄贈品	ファミリーマートアイスアリーナ店様	飲料、お菓子、麺類、お粥、レトルト食品、ホットケーキミックス、オムツ、離乳食
	ファミリーマート平畑店様	飲料、お菓子、レトルト食品、シャンプー、日焼け止め
	ファミリーマート南山店	お菓子
	ファミリーマート松原店様	飲料、調味料、お菓子
	ファミリーマート浜三沢店様	飲料、お菓子、レトルト食品、調味料、乾燥味噌汁、お茶漬け
	ファミリーマート六戸小松ヶ丘店様	お菓子
	セブンイレブン南山店様	飲料、麺類、お菓子
	日本ビュアフード株式会社青森プラント（横浜町）様	冷凍食品（肉）
	日本ビュアフード株式会社青森プラント（おいらせ町）様	ラーメンスープ、冷凍食品（肉）
	階上キューピー様	冷凍食品（うに）、調味料、すりごま、干切りごぼう、ダイスごぼう、こたつ、サンダル、サッカーボール、野球道具、ウクレレ、リュック
	スターゼン様	冷凍食品（肉）
	モリレイ様	冷凍食品、スープ、ゼリーの素、みそ、お弁当容器、シール
	スカイブラザ様	お菓子、麺類、缶詰、オートミール
	a Bakery Olive様	冷凍食品（パン）
	川守田パン様	パン
	コープあおもり様	冷凍食品、飲料、調味料、缶詰、お菓子、パン、麺類
	コカ・コーラボトリング様	飲料
	加澤商店様	衣類
	小坂工務店様	飲料、ベビーカー、ベビーシート、雑貨、衣類
	青森県社会福祉協議会様	飲料、缶詰、トマトソース、クレープミックス
	三沢市社会福祉協議会様	オムツ
	全農 青森支部様	米
	JAおいらせ様	さつまいも、毛布
	NPO法人ふうどばんく東北AGAIN様	飲料、麺類
	NPO法人チャリティーサンタ様	本
	松本結加様	絵本、おもちゃ、雑貨
	数内良子様	飲料、りんご、なべ焼きうどん
	中嶋様	こども服

延べ人数●2025年8月～2025年11月

拠点名	事業所名	個人	団体	計
晴ヶ丘	晴ヶ丘老人ホーム	13	-	13
	はるが丘デイサービスセンター	12	-	12
	グループホームはるが丘	2	-	2
三沢	三沢老人ホーム	47	48	95
松園	松園ケアラウンジ・スカイ	5	-	5
	松園デイサービス・スカイ	3	19	22
	松園グループホーム・スカイ	6	19	25
岡三沢	岡三沢ぬくもりの家	15	-	15
	岡三沢コラボケアセンター	15	-	15
栄町	栄町ぬくもりの家	3	-	3
	栄町コラボケアセンター	3	-	3
松原	松原ぬくもりの家	7	-	7
大津	シニアライフ大津	7	-	7
	三沢デイサービスセンター	12	41	53
桜町	ソーシャルワークセンター	72	-	72
堀口児童	堀口児童デイサービスセンター	15	-	15
世田谷	世田谷希望丘ホーム	19	24	43
計		256	151	407



お心いただきました！ ありがとうございます！